

これからの庄内を考えることは楽しい。

「日本地域課題解決学研究会」 の設立について

平成 27 年 12 月

日本地域課題解決学研究会 設立趣意書

21世紀も10年以上が過ぎ、わが国の地域課題はますます深刻化、複雑化しております。

こうした地域課題を解きほぐし、解決に向けた処方箋を構築していくためには、研究者のみならず、行政、企業、各種団体、学校教育者、学生・生徒、地域住民など、地域での生活、社会経済活動に関わる多方面の方々が、複合的地域課題に取り組むべく知恵と活力を結集していかなければなりません。

そのためには、地域課題の解決に関心を持つ方々が集まり、活発な議論を行うための「場」が必要です。

そこで、平成25年度に文部科学省から「地（知）の拠点整備事業」の採択を受けた東北公益文科大学が中心となって、日本地域課題解決学研究会を設立し、地域課題について、さまざまな立場から意見交換ができる機会を設けることといたしました。

本研究会では、東北公益文科大学が置かれている山形県庄内地域のみならず、全国的な地域課題の共有と解決に取り組むことを目指します。そして、実践・研究報告や意見交換だけにとどまらず、地域課題解決の糸口を導き出すことによって、成果を政策提言や地域活動などに直結できる実践重視型の活動を行います。

さらに、研究会を通じて、地域課題に正面から立ち向かう人材を育成すべく切磋琢磨してまいります。

日本地域課題解決学研究会は、多様な主体に開かれた、「地域の地域による地域のための研究会」となることを目標にしております。

ぜひ多くの皆様にご理解とご参加いただきたく、お願い申し上げます。

平成27年12月5日

設立発起人

東北公益文科大学理事長	新田 嘉一
東北公益文科大学学長	吉村 昇
東北公益文科大学理事	町田 睿
山形県庄内総合支庁長	齋藤 稔
鶴岡市長	榎本政規
酒田市長	丸山 至
三川町長	阿部 誠
庄内町長	原田眞樹
遊佐町長	時田博機